

これからの はむらの学校

～学校再編の取組～

 松林小学校と武蔵野小学校の統合 

 羽村第二中学校と羽村第三中学校の統合 

全国的に少子化傾向が加速する中、羽村市では、市立小・中学校の適正な規模を確保し、より一層の学びの充実を図っていきたいと考えています。

教育委員会では、令和 6 年 2 月に、羽村市の学校再編について市民の皆様と共に考えていくため、「これからの羽村市立学校の在り方について」を公表しました。

その後、市が公表した「羽村市公共施設再配置構想たたき台」「同構想たたき台 Ver.2」において、松林小学校と武蔵野小学校、羽村第二中学校と羽村第三中学校を、令和 12 年度頃までにそれぞれ統合する計画を示しました。

このリーフレットは、小学校 2 校、中学校 2 校の統合の目的や教育委員会の考え方、統合までのスケジュールなどについて、これまでに開催した懇談会等にお越しいただくことができなかった方を含め、保護者の皆様へ分かりやすくお伝えするために作成したものです。

上記の計画は
こちらから確認する
ことができます。



▲これからの羽村市立
学校の在り方について



▲羽村市公共施設
再配置構想(案)



校再編の目的

将来的な児童・生徒数の減少を踏まえ、子供たちのより良い教育環境を整備し、学校教育の質を、より一層向上させることを目的としています。

松林小学校と羽村第三中学校、武蔵野小学校、羽村第二中学校

4

校を取り巻く現状と課題

○松林小学校と羽村第三中学校は、他校と比べ、児童・生徒数が非常に少なく、学級数に応じて教員定数が決まるため、教員を配置する上での課題があります。

○武蔵野小学校は、今後の児童数の減少見込みが顕著です。下の表のとおり、令和12年度は令和7年度に比べて、児童数が約6割になると推計しています。

○羽村第二中学校についても生徒数が減少傾向にあります。

◆児童・生徒数の変化

小学校

		令和7年度		令和12年度		増減
		児童数	学級数	児童数	学級数	
松林小	1年	33	1	23	1	△10
	2年	23	1	37	2	14
	3年	29	1	26	1	△3
	4年	38	2	31	1	△7
	5年	34	1	29	1	△5
	6年	33	1	33	1	0
	計	190	7	179	7	△11
武蔵野小	1年	50	2	23	1	△27
	2年	40	2	15	1	△25
	3年	47	2	38	2	△9
	4年	65	2	27	1	△38
	5年	66	2	49	2	△17
	6年	57	2	50	2	△7
	計	325	12	202	9	△123

中学校

		令和7年度		令和12年度		増減
		生徒数	学級数	生徒数	学級数	
羽村二中	1年	143	5	131	4	△12
	2年	174	5	130	4	△44
	3年	172	5	147	5	△25
	計	489	15	408	13	△81
羽村三中	1年	61	2	40	2	△21
	2年	78	2	47	2	△31
	3年	82	3	65	2	△17
	計	221	7	152	6	△69

◆統合後の児童・生徒数

		令和12年度	
		児童数	学級数
松林小 + 武蔵野小	1年	46	2
	2年	52	2
	3年	64	2
	4年	58	2
	5年	78	3
	6年	83	3
	計	381	14



		令和12年度	
		生徒数	学級数
羽村二中 + 羽村三中	1年	171	5
	2年	177	6
	3年	212	7
	計	560	18



※令和7年5月1日現在の小中学校の在籍数と学区ごとの出生数を基に推計しています。

※令和12年度の中学生は、全学年35人学級で推計しています。

※令和12年度の学級数は、小・中学校ともに全学年35人学級で推計しています。

※令和12年度の児童・生徒数は、特別支援・区域外就学の将来予測ができないため、出生数の全数を基準にしています。



校再編の基本方針

○松林小学校を武蔵野小学校に統合します。

○羽村第三中学校を羽村第二中学校に統合します。

○上記4校の統合以降の学校の再編は、「これからの羽村市立学校の在り方について」を踏まえ、段階的に進めていきます。具体的には、令和9年度以降に策定を予定している「個別再配置計画(配置編)」に示します。内容については、市民の皆様との意見交換等を通じて検討していきます。



後のスケジュール(案)

令和 8 年 7 月	「羽村市公共施設再配置構想(案)」パブリックコメント
9 月	「羽村市公共施設再配置構想」策定
9 月～ 令和 9 年 2 月	「個別再配置計画(実行計画編)」※1 の内容検討、 説明会開催、意見聴取
3 月	「個別再配置計画(実行計画編)」策定
4 月～ 令和 12 年 3 月	統合に向けた準備期間
4 月	統合 ※2

※1 「個別再配置計画(実行計画編)」

各校の統合に関する具体的な内容やスケジュール等を定める計画。この計画を策定する過程で、通学の安全対策や通学支援、統合後の特別支援学級や特別支援教室についても検討し、決定します。

※2 令和 8 年度の小学 1 年生及び小学 5 年生は、統合を予定している令和 12 年度にはそれぞれ小学 5 年生及び中学 3 年生になります。

Q & A

これまでに寄せられた質問から、主なものを紹介します。

Q 松林小学校と武蔵野小学校の統合について、なぜ武蔵野小学校に統合するの？

A 2校の学区を統合すると武蔵野小学校の方がより学区の中心にあり、学区内の通学距離のバランスが良いこと、また、武蔵野小学校の方が施設が新しいためです。

Q 統合後の特別支援学級や特別支援教室はどうなるの？

A 単純に統合するパターンだけでなく、様々な選択肢を検討していきます。
具体的には、令和 8 年度中に「個別再配置計画(実行計画編)」を策定する過程で案をお示しします。
検討段階で、案について説明する機会を設けます。

Q 学区の変更は行わないの？

A 現時点では、学区の変更を行う予定はありません。学区の変更は、児童・生徒数の偏在を一時的かつ局所的に緩和する手段として捉えることができる一方で、全体的な児童・生徒数の減少という根本的な課題に対する解決策にはならないと考えています。

Q & A

Q 市内 10 校の小・中学校のうち、この 4 校から統合するのはなぜ？

A 児童・生徒数の現状と今後の減少傾向を踏まえ、子供たちのより良い教育環境を整備する観点等から、早期に統合し、学校規模の適正化を図る必要があると判断したためです。

Q 通学路の安全確保が心配です。対策は？

A 通学路の安全確保は重要なことと認識しています。今後、「個別再配置計画(実行計画編)」を策定する過程で対策案をお示しします。検討段階で、案について説明する機会を設けます。

Q 通学距離が長くなるのは心配です。対策は？

A 統合後は、小学校の学区内の通学最長距離は約 1.5 km(徒歩 20～30 分)が見込まれます。「個別再配置計画(実行計画編)」を策定する過程で、市内における他の学区との均衡も考慮した上で、どのようなサポートが必要か検討していきます。

Q 4 校はいつ統合されるの？

A 令和 12 年 4 月 1 日の統合を目指して検討を進めています。統合まで 3 年程度の準備期間を設け、交流活動の実施や指導方針の検討など、学校関係者や保護者の皆様と様々な調整を行います。

Q 規模の小さい学校(小規模校)は問題なの？

A 小規模校には、個に応じたきめ細やかな指導ができる、学校行事等をコンパクトに行うことができるといった良さがあります。その一方で、各学年に 2 学級以上ないと学級同士で高め合う機会を設定することができず、学級替えができないことで、人間関係のトラブル等を防いだり、多様な個性と触れ合う機会を作ったりすることも難しくなります。さらに、学級数に応じて教員定数が決まるため、複数の教員が同じ学年や教科を担当し、指導法の研究や授業のサポートをし合うといったことができません。中学校の場合には、各教科の正規教員を配置することもできなくなる場合があります。

問合せ 羽村市教育委員会 生涯学習部生涯学習総務課 電話:042-555-1111(内線 351)

FAX:042-578-0131 ☎:s700000@city.hamura.tokyo.jp

※不明な点等がありましたら、どのようなことでも差し支えありませんので、お問合せください。